



高瀬中だより

郡山市立高瀬中学校

令和6年1月9日発行

《第44号》 文責：校長 齋藤高志



3学期始業式を行いました。

本年もよろしくお願いいたします



皆様明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

本日、オンラインで第3学期の始業式を行いました。式では、校長の話の後、各学年の代表生徒の皆さんが3学期の抱負を堂々と発表しました。3年生の小林さんからは、受験生として冬休み中に実行したことや、元旦に北陸地方で地震に見舞われた皆さんへの温かな言葉がありました。

続いて今年度の締めくりとなる3学期の生活について、担当の先生から衣食住の視点に基づいての話がありました。そして、生徒会長の山口さんから3学期の生徒会活動に対する全校生の協力を呼びかけました。本年も高瀬小中コミュニティ・スクールを土台に地域と共にある学校づくりを進めてまいります。本校教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



学校評価（12月実施）教職員自己評価・生徒・保護者アンケート結果（その2）

高瀬中だより43号では、学校経営の5つの柱1～3についての評価結果をお知らせいたしました。今号では、柱の4、5・小中共同課題についての結果をお知らせいたします。

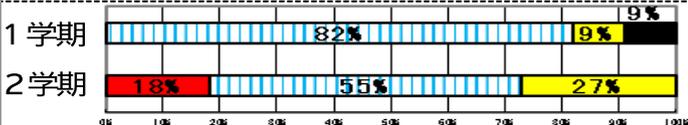
- A：とてもそう思う
- B：まあそう思う
- C：あまりそう思わない
- D：全くそう思わない

4「高瀬小・中コミュニティ・スクール」

(1) 高瀬小・中9年間を通じた教育活動の推進

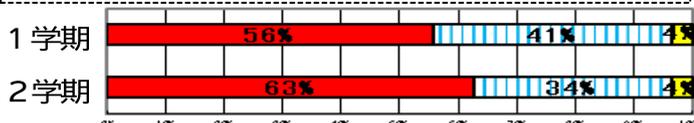
①教職員自己評価結果

授業研究会等の小中連携事業を通して、小学校での指導内容や指導方法を生かした授業改善に努めた。



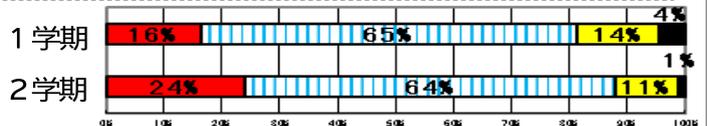
②生徒アンケート結果

小学校での学習内容や学習方法（話し方や発表の仕方、タブレット等の使い方等）が中学校の授業でも生かされているので、授業での学習活動にスムーズに取り組むことができた。



③保護者アンケート結果

お子様は、小学校の学習方法や生徒支援が中学校でも継続されているので、授業や生活に安心して取り組んでいる。



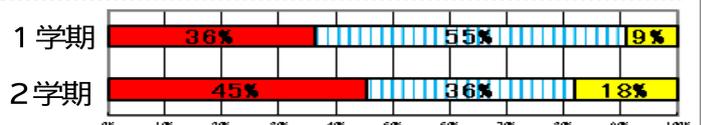
④ 考察(成果と課題)

2学期も高瀬小学校との小中連携事業を通して、小学校での指導内容や指導方法を把握し、授業改善につなげる取り組みを行いました。生徒のA+Bの評価がとても高い結果からも、授業でのタブレットの使い方や話し合いの仕方を小学校から取り組んできた成果とも言えます。小学校での指導内容や方法を生かし、今後も誰一人取り残さない学習指導を目指し、小学校から中学校への接続に際しての丁寧な説明などを行いながらスムーズな接続に努めてまいります。

(2) 地域学校協働活動の推進

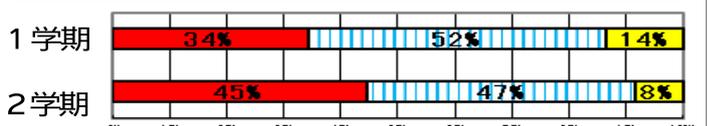
①教職員自己評価結果

SDGsの17の目標に関連付けた教育活動、「引き渡し訓練」等の小中合同の取り組みの推進に努めた。



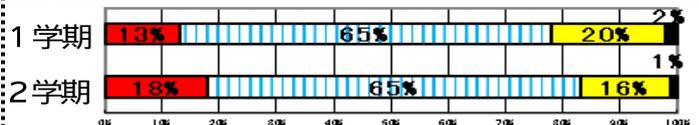
②生徒アンケート結果

授業や生徒会活動等を通して、SDGsを理解し、SDGsの17の目標に関連した活動を行うことができた。



③保護者アンケート結果

お子様は、授業や生徒会活動、学校行事を通してSDGsについて理解を深め、SDGsを意識した生活をしている。



④ 考察(成果と課題)

各教科や生徒会でSDGsに関連付けた取り組みを継続的に行っています。しかし、1学期は、ある取り組みがSDGsのどのゴールに結びついているのか、その理解の面でさらに改善が必要であるのではないかとその声が聞かれました。2学期は、高瀬小中CSの地域協働学校活動とSDGsについて周知を図るとともに、あいさつ運動や食育の推進、眼科・歯科受診率の向上の取組等SDGs17のゴールに向けた取り組みを推進してまいりました。

1、2学期の評価を比較すると、生徒、保護者のA+B評価に、改善が見られました。

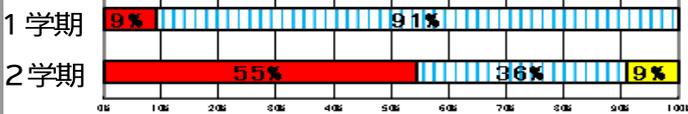
今後もご家庭でお子様からSDGsについての話題がでたり、学校からSDGsについて情報の発信を行ったりできるように、着実に高瀬中学校版SDGs活動を推進してまいります。

5 「保護者・地域・関係機関との連携」

(1) 保護者との信頼関係の構築

① 教職員自己評価結果

きめ細かな電話連絡や家庭訪問、マチコミメールの活用等により保護者との信頼関係の構築に努めた。



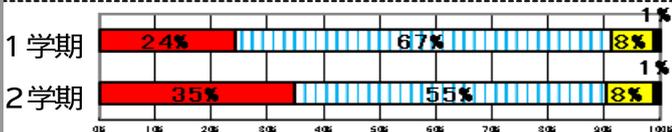
② 生徒アンケート結果

学校からの電話や家庭訪問、マチコミメール等により、家の人と学校との連絡がスムーズに行われていた。



③ 保護者アンケート結果

学校からの電話や家庭訪問、マチコミメール等により、学校との意思疎通や信頼関係ができています。



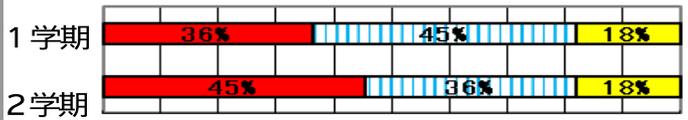
④ 考察(成果と課題)

日常からの連絡・相談により保護者の方との信頼関係のもと、生徒も安心して学校生活を送ることができました。教員、保護者のA評価に改善が見られました。今後も、学校教育の根幹である信頼を得ることができるよう学校全体で取り組んでまいります。

(2) 教育活動に関する不断の情報発信

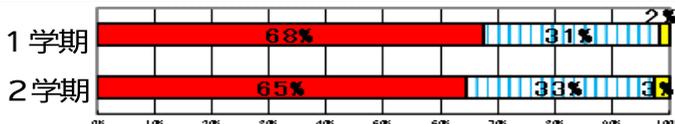
① 教職員自己評価結果

HP、学校・学年・保健・進路等の各種便り、オンライン配信等による教育活動の積極的な情報発信に努めた。



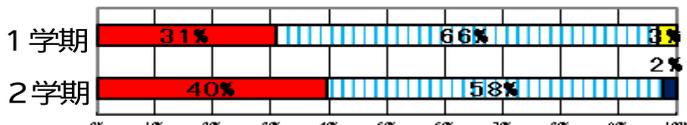
② 生徒アンケート結果

ホームページや学校・学年・保健・進路等の各種たよりによって、学校生活に関する情報を得ることができた。



③ 保護者アンケート結果

ホームページや学校・学年・保健・進路便り等により、学校生活に関する情報を得ることができている。



④ 考察(成果と課題)

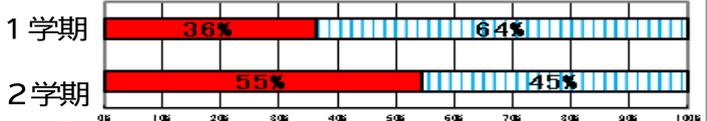
2学期も、生徒及び保護者から高い評価を得ることができました。今後も学年、学校、保健、進路、食育便りの定期的な発行やマチコミメールの活用、HPへのアクセスにより、生徒、保護者、地域の皆様に生徒の活躍の様子等様々な情報をお届けすることができるように努めてまいります。

* 「高瀬小中共通課題」

(1) あいさつがしっかりできる児童生徒の育成

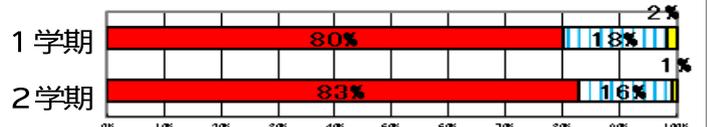
① 教職員自己評価結果

あいさつの励行の意義や大切さについて、学級や部活動、特別活動等において、適時、声掛けを行った。



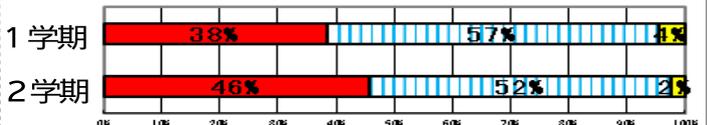
② 生徒アンケート結果

あいさつの意味を理解し、場に応じて適切にあいさつをすることができた。



③ 保護者アンケート結果

お子様は、時と場に応じて適切なあいさつをしている。



④ 考察(成果と課題)

高瀬小・中CSの取組として、PTA役員の皆様や学年委員の保護者の皆様、学校運営協議会の皆様のお力添えにより、今年度3回にわたって「あいさつ運動」を実施することができました。生徒の記述にも「地域の方にあいさつすることができるようになった」との前向きな意見も出されました。2学期も1学期同様、教職員及び生徒、保護者共にA+Bの評価が高い結果を示しています。このことから高瀬小中で、社会性の土台となる「あいさつ」ができる児童生徒の育成に今後も取り組んでまいります。

私立高等学校入試がスタート

～いよいよ『飛躍』の時！～

今週末から、私立高等学校の入試が始まります。高校入試では、学力試験や面接が行われます。

面接指導については昨年より、各学級や学年、学校全体での指導を重ねて行ってきました。生徒の皆さんは面接を重ねる毎に志願理由などの質問にハキハキと答えることができている。当日は思う存分力を発揮してほしいと願っています。頑張り高瀬中！！

冬休み成果・実力・定期テスト実施をします

明日10日(火)に1、2年生は、冬休み中の学習の成果を確かめる「成果テスト」、3年生は、受験に向けて学力を確かめる「実力テスト」を実施します。また、3年生は、11日、12日と授業での到達度をみる「第4回定期テスト」を実施いたします。最後まで精いっぱい取り組んでほしいと思います。